

最終報告書  
(報告期間 2017年4月1日～2017年6月30日)

国際ロータリー第2710地区  
2016-2017年度 地区補助金奨学生  
三澤志織

1. 報告書提出日：2017年6月30日
2. 基本情報
  - 氏名：三澤志織
  - 派遣ホストクラブ及びカウンセラー：広島西ロータリークラブ、梶本政明様
  - 受入ホストクラブ及びカウンセラー：Rotary Club of Monterey Pacific, Ms. Lisa Luscombe
  - 教育機関：Middlebury Institute of International Studies at Monterey
  - 専攻分野：MA in Translation

昨年の6月から始まった留學生活も5月で1年目が終了いたしました。今回の報告書では、前回の報告期間以降の成果と2016-2017年度地区補助金奨学生として留學させていただいた1年間の振り返りとまとめをご報告したいと思いません。

## 学業面での成果

### 1. 授業、試験について

4月始めから学年末の5月中旬までは、中間試験の振り返りに始まり、期末試験前の模擬試験そして期末試験本番と、試験のことで頭が一杯の期間でした。またそれと平行して、CAT（翻訳支援ツール）の授業や、Multilingual DTP and Audio/Visual Localization（翻訳・ローカリゼーション管理の仕事で役立つソフトウェアを学ぶ）の授業での、グループや個人のプロジェクトもはじまり、目まぐるしい1ヶ月半でした。

試験は翻訳、サイトトランスレーション、通訳の7つのクラスで中間試験と期末試験が行なわれ、試験結果もすべて返却されました。中間試験の結果は、英日翻訳がA、英日サイトトランスレーション、日英サイトトランスレーション、日英翻訳がA-、通訳が全てB-でした。期末試験では、英日翻訳がA+、英日サイトトランスレーションがA-、日英翻訳、日英サイトトランスレーションがB+、通訳が全てB-という結果でした。中間、期末ともに通訳が思うように行かず、残念でした。期末試験は進級試験を兼ねた重要な試験で、結果を知るまでは非常に緊張しましたが、なんとか無事進級は決まり、安心しています。ただ、通訳については、残念ながら不合格となり8月に再試験を受けることになりました。学期末に行われた教授との面談では、翻訳やサイトトランスレーションについては、着実に実力が伸びていて、特に日本語から英語方向は、この1年間で飛躍的に伸びたと思う、というフィードバックを頂き、励みになりました。通訳については、確かに実力は伸びているが、根本的な部分で英語の理解力や発話力が学校の求めているレベルにまだ達していない、との厳しい指摘を頂きました。ただ一方で、入学前までに英語圏での生活経験がほぼなかったのだからそれは当然で、夏休み中にできるだけ英語を使って聴き取りや発話力を伸ばして欲しい、それができれば、分かり易く訳す作業は良く出来ているのだからすぐに伸びると思う、とのアドバイスも頂きました。8月まで気を引き締めて頑張りたいと思います。

### 3. 夏休み期間について

4月の初旬に無事夏休み中のインターンシップが決まりました。WIPO (World Intellectual Property Organization / 世界知的所有権機関) の翻訳部での、Terminologist (ターミノロジスト) という仕事です。WIPO は国連の専門機関でスイスのジュネーブにあります。当初はせっかくアメリカに留学しているので、インターンシップをするならアメリカでと考えていたのですが、教授などから



中央：WIPO の建物

応募を勧められたことや、アメリカ国内ではなかなかビザなどの条件が合わず見つけづらかったこともあり、こちらに決めました。インターンシップ (私が現在行っているものは正式には「フェローシップ」と呼ばれているため以下フェローシップ) は 5 月 22 日に始まり、8 月 21 日に終了予定です。現在約 3 分の 1 が過ぎました。

WIPO には、特許関連の書類の翻訳を担当する翻訳部門が設置されています。ターミノロジストはその部門で、特許に関する専門用語 (ターミノロジー) のデータベースの構築をしていく仕事です。このデータベースは辞書のようなもので、各用語について、10 言語で相当する言葉とその言葉の使われている例文が入力されており、翻訳作業の効率化に役立てられるほか、「WIPO Pearl」という WIPO の多言語専門用語ポータルサイトにて一般公開されています。(WIPO Pearl: <http://www.wipo.int/reference/ja/wipopearl/index.html>)

様々な言語の組み合わせで検索ができ、入力された用語は全て専門家によりチェック済のため非常に信頼性の高いデータベースなのですが、用語によって、まだ 10 言語全てがそろっていないものがあります。私の仕事は、日本語が抜けている用語について、英語やその他の言語を参考にしながら、相当する日本語を探し、実際にその言葉が使用されている例文と共に入力していく作業です。私は将来的に特許関連の翻訳にも興味があるため、この仕事を通して特許用語や特許文書について学ぶことができることと、翻訳通訳に重要なリサーチ力も鍛えられる点で非常に良い経験となっています。

職場は非常に働きやすく恵まれた環境です。私の学校 MIIS の卒業生の方も

多く働かれており、良くしてくださっています。また、同じく他言語（中国語、スペイン語、韓国語）でフェローシップを行っている同僚もおり、楽しく助け合いながら仕事をしています。WIPOは国連機関のため、国連ジュネーブ事務所やその他の国連機関にも職員バッジを利用して入ることができます。そのため、昼休憩を利用してそれらの機関のオフィスにある食堂を利用してみたり、内部を少し見学したりなど、貴重な体験もさせていただいています。



オフィスからの風景

#### 4. その他

- 前回の報告書でご報告した春休み中に参加した翻訳関係のボランティアについて先方のホームページに紹介していただきました。

<https://lockey2017.wordpress.com/2017/04/20/featured-volunteers-mary-and-shiori/>

- 現在参加しているインターンシップについて学校のホームページに名前を掲載していただきました。

<http://www.miis.edu/about/newsroom/stories/node/46408>

## 参加したロータリー活動

### 1. 4月—5月半ば期間

試験、グループプロジェクト、インターンシップの準備などが重なっていたことや、カウンセラーの Lisa さんとの都合がうまく合わなかったこともあり、残念ながらミーティングや活動への参加はいつものようにはいきませんでした。ですが、インターンシップが決まったことを、あるミーティングの際に皆さんにご報告すると、喜んでくださいました。インターンシップ中は、カウンセラーの Lisa さんに、近況を報告することにしています。

### 2. 1年間の振り返り

この一年を通して、参加させていただいた活動の数はそんなに多くないかもしれませんが、出発前に何人かのロータリアンの方々からアドバイスを頂いた通り、ミーティングにはできるだけ参加させていただこうと思って過ごしてきました。何度も参加させていただいていると、次第にクラブの一員として皆さんに顔を覚えていただき、いつも暖かく迎えてくださいます。毎週ロータリアンの方や地域の様々な方が興味深いプレゼンテーションをするのを聞かせていただく機会があるのは、とてもありがたいことです。特に、教室、図書館、家を往復する生活の中では、週に一度のミーティングは楽しみな息抜きとなりました。また、カウンセラーの Lisa さんだけでなく、ボランティア活動に誘ってくださった方、自転車のパンクを直しに休日にかけてくださった方、食事に誘ってくださった方、Lisa さんが不在の期間にミーティングへの送迎をしてくださった方など、**Rotary Club of Monterey Pacific** の皆さんには本当に良くしていただき感謝しています。学校以外でこのようにロータリアンの方をはじめ地域の方々との交流が持てるのは、奨学生として留学させていただいていなければ、なかなか難しいことです。2016-2017 年度地区補助金奨学生として留学させていただき、国際ロータリー第 2710 地区の皆様、広島西ロータリークラブの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

### 3. 参加した主な活動

独立記念日のパレード



7月4日にモンレーの中心街で開催された独立記念日のパレードに、クラブの一員として参加

「Cioppino & Vino」



1月28日に開催された受け入れクラブ主催の募金のためのオークションイベントにてボランティアのウェイターとして参加

その他ボランティア活動  
(ロータリアンの方紹介)  
Saturday Breakfast



冬休み中の土曜日にホームレスの方々へ朝食を提供するボランティアに参加

## 直面した課題、問題点等

一年間を振り返ってみると、特に大きな問題もなく、無事に学生生活を送ることができたと思います。学期中は課題や予習復習に追われたり、プレッシャーの大きな授業が続いたりで、ストレスを感じていたのは否定できませんが、大きく体調を崩すことはなかったのはよかったです。強いていえば、日本を発つ前に治療をした歯の詰め物がとれてしまい、高額な治療費を払うことになってしまうという痛い思い出はありました。二年目も健康には留意して生活したいと思います。課題については、一年を通しての課題は時間管理でした。結局学期の最後まで苦戦し続けることになりましたが、夏休み中に上手く立て直して、二年目はもっと効率よく生活を回していくことができればと思っています。

## 今後の課題、キャリア目標

今後の課題については、まずは8月に控えている再試験です。再試験はほとんどのクラスメイトも受けることになってしまったため、空いた時間に一緒に練習をするようにしています。幸運にも、現在同じ職場でフェローシップをしているクラスメイトがおり、同じアパートに住んでいるので、仕事後に二人で練習をしたり、他の場所でインターンシップをしているクラスメイトとは休日にスカイプを利用し練習したりしています。これまで新しい環境や仕事に慣れるまで、なかなか思うように勉強時間がとれずもどかしい日々もありましたが、悔いのないよう精一杯準備したいと思います。

また、私のプログラムでは任意ですが、卒業論文に来年度は取り組もうと考えています。そのための準備を夏休み中にできるだけ進めることが奨励されているのですが、テーマの選定に苦戦しています。教授などと相談しながらできるだけ準備できるよう努めたいと思います。

キャリア目標については、まだ二年目があるため今後じっくり具体的に考えていくつもりですが、この一年間の自身の振り返りや教授からのフィードバック、現在のフェローシップの経験を併せて考えると、じっくりリサーチを行い、良い訳を追求していく翻訳が自分は好きで、得意でもあることが分かってきました。翻訳の奥深さ、面白さを改めて実感したからです。入学前は、通訳と違い翻訳は調べて時間をかければ、ある程度二つの言語を理解している人なら誰でもできるのでは、という思いがどこかにありました。ですが、改めて基礎からしっかり学び、学校での勉強や翻訳エディター兼チェッカーのボランティアを通して、本

当に質の良い翻訳とそうでないものに触れたり比較したりする機会が多々あったことで、その考えは間違っていたことを改めて実感しました。本当に質の良い翻訳は誰にでもできるものではなく、ある種の芸術のようなもので、それを追求していくのは非常に面白いです。もちろん通訳の勉強も引き続きしっかり取り組んでいきたいと思いますが、このような発見ができたのは、学生として一年間自分に向き合いながら勉強に集中できる環境があったからであり、ありがたいことだと思います。二年目は論文に取り組んだり、理論についてもより詳しく学ぶ機会があります。あと一年かけてじっくりと具体的なキャリア目標についても考えていきたいと思っています。

### 今後のロータリー活動への参加

二年目になっても引き続き受け入れクラブ Rotary Club of Monterey Pacific のミーティングへの参加やクラブの皆さんとの交流は続けていきたいと思っています。以前、MIIS のロータクトを設立するという話が出ていたのをご報告したのですが、学業だけで自分に余裕がなく、結局今年はその計画に取り組むことができませんでした。二年目になり、もし少し余裕が持てるようであれば、取り組んでみたいと思っています。

### 今後の奨学生への助言

受け入れクラブのミーティングにはスケジュールが許せば参加されることをおすすめします。私はできれば毎週参加したいという思いで割と頻繁に参加させていただいてきましたが、毎回いろんな発見や出会いがあり、地域のことについてもよく知ることができるなど感じています。また、何かやりたいこと、困っていること、探していることなどがあれば、受け入れクラブのロータリアンの方々に相談してみるといいかもしれません。例えば私は何か冬休み中にボランティアをしたいとある方に相談すると、とても親身になって知り合いに問い合わせてくださいたり、情報をくださったりしました。また自転車がパンクしたと少し話ただけで、休みの日に直しに来てくださった方もいました。私の運が良かったのかもしれませんが、クラブの皆さんの親切さには驚いています。留学生生活全般についてはやはり健康が大事だと思うので体には気をつけて頑張ってください。